

「障害者週間」記念のつどい

障害のある人もない人も共に生きる社会

「障害者週間」とは？

昭和56年(1981年)の国際障害者年を記念して、毎年12月9日を「障害者の日」と定められ、障害者問題について国民の理解と認識を更に深め、障害者福祉の増進を図るために啓発行事が継続的に実施されてきた。障害者基本法の改正により、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、社会・経済・文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるため、毎年12月3日～9日が「障害者週間」と位置づけられた。名古屋市においても一般社会の人々への啓発事業として、実行委員会を設置し、この事業を行う。

プログラム

※開場は 10:00。12:20～13:20 は休憩時間。

午前 の部	10:30	式典	名古屋市あいさつ／障害者と市民のつどい実行委員会あいさつ
	10:50 ～ 12:20	映画	日本語吹替え シーンボイス字幕付き いろとりどりの親子 自閉症、ダウン症、低身長症、LGBTなど、さまざまな“違い”を持った6組の親子を見つめる真実の物語。
休憩	13:20 ～ 15:00	映画	シーンボイス字幕付き 精神病院のない社会 「むかしMattoの町があった」は1980年までのイタリア精神保険改革の物語でした。あれから37年経った今のイタリア、そして日本の現状を映像で追います。
午後 の部	15:00 ～ 15:30	合唱	少年少女合唱団 地球組 “通う学校はもちろん、障がいや言葉の壁など、全ての壁を越えた仲間たち。友情と平和のハーモニーを伝えます”をテーマに2000年に創設。歌が上手だとが下手だとか、障害があるとか、無いとか、宗教や国籍、言葉が違っても、みんなステキな仲間たち。自然な気持ちで、みんなが認め合い、助け合うことができるようになれば、子どもたちにとって幸せな未来になると信じて歌い続け、今では130名を超える大きな合唱団となりました。
	15:30	式典	障害者と市民のつどい実行委員会あいさつ

